

## 京都市「がん検診」に関する取組について

## 1 がんの実態

がんは、昭和 56 年以降、我が国の死亡原因の第 1 位であり、がんの罹患数と死亡数は、人口の高齢化を主な要因として共に増加し続けている。

(参考) 京都府の検診別罹患数・死亡数順位

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
(a) 罹患数 (2020 年)	男	前立腺	肺	大腸	胃	肝臓
	女	乳房	大腸	肺	胃	子宮
(b) 死亡数 (2020 年)	男	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
	女	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

出典：(a) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録) より

(b) 京都府がん実態調査報告書 (2020) 表 10 より

## 2 京都市がん検診の取組状況

## (1) 京都市がん検診

本市では、国の指針に定められている 5 項目のがん検診 (胃・大腸・肺・乳・子宮) と本市独自の事業として 2 項目 (前立腺、胃がんリスク層別化検診) の計 7 項目のがん検診を実施している。

## (2) 受診率について

国のがん対策推進基本計画 (第 4 期) においては、指針に基づく全てのがん検診において、受診率「60%」を目指すこととされている。受診率は、国民生活基礎調査による推計値に基づくものであり、市町村が実施するがん検診に加え、企業等が実施する職域での検診や国民健康保険等の健診、人間ドック等を含めたものである。

本市においても、令和 6 年 3 月策定の「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン」において、市民の健康づくりの状況を確認する数値として、同じく「60%」を目標値に掲げている (計画期間：令和 6 年度～令和 17 年度)。

(参考) 直近の国民生活基礎調査による受診率比較表 (経年比較は【別紙 5】のとおり)

R 4	胃 (50～69 歳)	肺 (40～69 歳)	大腸 (40～69 歳)	子宮 (20～69 歳)	乳 (40～69 歳)
京都市	42.3%	39.2%	37.7%	37.2%	41.6%
全国平均	48.4%	49.7%	45.9%	43.6%	47.4%

### 3 がん検診の受診率向上の主な取組

#### (1) 令和5年度の取組

##### ア 受診しやすい環境づくり

###### (ア) 個別医療機関実施

身近な医療機関で受診できるよう市内約847箇所を実施。

###### (イ) がんセット検診（平成19年9月開始）

最大で5つの検診を1日で受診できる検診「がんセット検診」を実施。

##### イ 受診勧奨

###### (ア) がん検診ガイドの配架

本市がん検診の対象者や受診方法等を紹介する「がん検診ガイド」を作成、周知することで受診勧奨・啓発を実施。職場等で受診機会のない市民を主な利用者として想定していることから、京都市国民健康保険と連携し、約20万世帯の国民健康保険世帯に郵送している「国保だより」に「がん検診ガイド」を同封することで、受診勧奨・啓発を実施。

###### (イ) かかりつけ医を通じた受診勧奨

本市ががん検診の指定医療機関に対し、「本市のがん検診を周知するポスター」及び「がん検診ガイド」を配布し、受診対象者に呼掛けを実施。

###### (ウ) がん検診無料クーポン券配布事業

本市のがん検診を無料で受診できるクーポン券の配布事業を実施。対象は、子宮頸がん検診（20歳）及び乳がん検診（40歳）。

#### (2) 令和6年度の新たな取組

##### ア はがきによる受診勧奨

過去の取組において、郵送による個別の受診勧奨が効果的であったことから、令和6年度は40～48歳の偶数年齢の方を対象に受診勧奨を実施。

##### イ 集団健診予約者への大腸がん検診キット同封

国民健康保険の特定健康診査、後期高齢高齢者の集団健診予約者に、予約内容通知書、採尿容器のほか、大腸がん検診キットを同封。

##### ウ 子宮頸がん検診の無料クーポン配布対象年齢の拡充

上記の子宮頸がん無料クーポン券について、就転職・結婚・出産等、様々なライフイベントが到来し、健康に関心を向けやすくなる機会を的確に捉えるため、無料クーポン券の対象に「24歳・28歳」を拡充し、更なる受診率向上策を実施。

## 国民生活基礎調査によるがん検診受診率（経年比較）



